

かながわ

看護連盟通信

No.
67

Kanagawa
Nursing league Letter

発行：平成29年9月1日



ごあいさつ



神奈川県看護連盟会長 **奥本 信子**

日頃から当連盟の活動にご支援ご協力賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の参議院選挙の総括から、若者に対しての連盟活動が極めて重要であると改めて確信しました。神奈川県の連盟会員の約70%が若い会員です。看護政策を実現するためには、強い組織を目指していく必要があります。今年度は連盟会員の多くを占める若い会員にも焦点を絞り、政治や制度に関心を持ってもらう事業を展開しています。

その1回目として、8月22日に若者11名が、たかがい恵美子参議院議員を訪問し懇談会を行いました。参加者から「政治を身近なものとして考えることができた」「連盟と政治のつながりを密に感じた」等の声が寄せられています。今年度はあと2回(11月・2月)計画していますので、是非応募していただきたいと思います。

また、現場の声を聞かせていただき、看護が抱える課題を実現できるように活動していきたいと考えています。皆様の現場の声をお待ちしています。



公益社団法人 神奈川県看護協会会長 **花井 恵子**

神奈川県看護連盟の皆さまに、新任のご挨拶を申し上げます。この度、神奈川県看護協会会長に就任しました“花井恵子”と申します。

今までは、臨床で看護実践・看護管理を進めて参りましたが、今後は県内全体を見渡しながらか、看護職能団体役員として活動していきたいと考えています。特に今年度は、「地域看護に従事する看護職の資質向上と支援」、「看護職の労働環境の整備推進と就業支援」、そして「災害時対策の充実」のために事業展開していきます。

看護職に対する期待が益々高まっている今こそ、自ら行動し、社会に対して看護の必要性や重要性を認識してもらうチャンスの時です。一緒に取り組みましょう。どうぞよろしく願います。



公益社団法人 川崎市看護協会会長 **広瀬 壽美子**

現在、当協会は6月に無事通常総会を終了し、29年度事業を推進しているところです。翌日23日には、神奈川県看護連盟の通常総会に参加させていただきました。

総会終了後の懇親会では、各支部のそれぞれの催しに楽しさと団結の力を拝見させていただきました。

医療の提供体制や看護に関わる制度が、大きく変わる中、看護の専門職として、自分達の役割と足元をしっかりと見つめ、必要な力を蓄え社会の期待に応えていく、私達にはそうしたことが求められています。そのための多くの課題の解決に向け、しっかりと連携し、これからの看護活動を推進していきたいと思います。

自民党女性局長 参議院議員 たかがい 恵美子

残暑の候、神奈川県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。

平素より、国民福祉の向上と看護政策の推進にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。お陰様で、当選来一貫して社会保障制度改革の重要な任にあたらせていただくとともに、一昨年秋より女性局長を務めさせていただいております。先の参院選を経て、党所属女性国会議員数は43名となり、地方議会においても女性議員数が493名となりました。女性版ふるさと対話集会の創設と全国展開、政治女子を育てる党政治塾「プレミアム・ウィメンズクラブ」の創設・開講、女性の健康の包括的支援に関する法案成立への取り組み、女性医療職エンパワメント推進議連の創設と、着実に政策提言を進めています。

これからも皆様と呼吸を合わせ、丁寧な仕事を心がけて参りますので、引き続き、よろしくお願いいたします。



参議院議員 石田 昌宏

神奈川県看護連盟の皆さま、日頃よりお力添えを賜りありがとうございます。

先般開催されました日本看護連盟通常総会において、組織内候補予定者としての決定をいただきました。看護政策推進の使命をいただいたものと、身の引き締まる思いであります。

これからも、職場環境の改善、基礎教育と卒後教育の連続的充実、看護の社会的地位の向上など力強く推進し、全ての看護職が「今日もよい看護ができてよかった!」と実感できるよう全力を尽くします。

現在、全ての都道府県を訪問して皆様の声を伺う「現場の声を届ける会」が始まり、いくつかの県を訪問させていただきました。皆様の声を国政に届け、課題の解決に向け、看護職の代表として力の限り行動して参ります。

衆議院議員 あべ 俊子

神奈川県看護連盟の皆さま、いつも温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

第193回通常国会が閉会しました。今国会では看護職を取り巻く諸課題、特に育児や介護等による夜勤の担い手不足や診療報酬改定を見据えつつ、膨らみ続ける臨床での記録について積極的に取り組みました。それらの取り組みが実を結ぶには時間を要するかもしれませんが、千里の道は一步からの精神で一つ一つの課題に対して引き続き丁寧に取り組んでまいります。

これからも国政に看護職の願いを届けられるよう頑張っておりますので、皆様からの忌憚ない現場の声を聞かせていただけますよう心よりお願い申し上げます。



衆議院議員 木村 やよい

神奈川県看護連盟の皆さま、こんにちは。

初当選から2年半。看護の視点を軸にさまざまな法案に関わってまいりましたが、なんとかここまで来られたのも、看護職の皆さまのご指導があつてこそ。これからも現場の最前線でいただいたご意見やご要望を政策に反映し、光の当たらずどころにあたたかな光を当てていく政治家でありたいと思っています。また、今後は各地域での教育・医療・福祉の連携した体制の構築にも力を注ぎたいと思っております。

最後になりましたが、京都三区(京都市伏見区、長岡京市、向日市、大山崎町)にご家族・親類・ご友人等がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介をお願いいたします。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

神奈川県看護連盟通常総会

平成28年度 収支計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

収入総額 70,763,161円

支出総額 29,582,653円

収支差額 41,180,508円

[収入の部]

(単位:円)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
I 会 費	21,650,000	21,581,000	69,000	会員5,379人(内70歳以上30人) 賛助会員80人
II 助 成 金	14,400,000	12,270,240	2,129,760	日本看護連盟助成金
III 雑 収 入	870,000	670,414	199,586	会員交流会参加費、研修参加費、広告料等
A 当期収入合計	36,920,000	34,521,654	2,398,346	
前期繰越収支差額	36,241,507	36,241,507	0	前年度繰越金
B 収入合計	73,161,507	70,763,161	2,398,346	

[支出の部]

(単位:円)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
I 会 議 諸 費	5,700,000	3,286,490	2,413,510	会場費、総会資料印刷代、ミニコンサート 費等 県役員会議4回、県役員・支部長会議3回、 県役員・支部役員合同会議2回、幹部会議4回
総 会 費	2,200,000	1,396,924	803,076	
役 員 会 費	3,500,000	1,889,566	1,610,434	
II 事 業 費	14,280,000	9,442,622	4,837,378	役員活動費、機関誌発行費、都道府県別会 議1回、会員交流会費等 職域活動交付金 熊本地震義援金 リーダーセミナー2回、研修2回、国会見学
活 動 費	10,280,000	6,582,512	3,697,488	
職 域 活 動 費	2,000,000	2,000,000	0	
災 害 対 策 費	200,000	100,432	99,568	
研 修 費	1,800,000	759,678	1,040,322	
III 運 営 費	15,800,000	13,855,442	1,944,558	会長、事務局職員給与等 事務室賃借料、物品リース料、消耗品費等
人 員 費	9,000,000	7,894,292	1,105,708	
需 給 費	6,800,000	5,961,150	838,850	
IV 支 部 交 付 金	3,000,000	2,998,099	1,901	11支部への交付金
V 予 備 費	500,000	0	500,000	
C 当期支出合計	39,280,000	29,582,653	9,697,347	
A-C 当期収支差額	△2,360,000	4,939,001	△7,299,001	
B-C 次期繰越収支差額	33,881,507	41,180,508	△7,299,001	次期繰越金

平成29年度 収支予算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

[収入の部]

(単位:円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	増 減 額	備 考
I 会 費	21,650,000	21,650,000	0	会員5,400人(内70歳以上30人) 賛助会員110人
II 助 成 金	12,200,000	14,400,000	△2,200,000	日本看護連盟助成金
III 雑 収 入	670,000	870,000	△200,000	国会見学参加費、会員交流会参加費 研修参加費、広告料等
A 当期収入合計	34,520,000	36,920,000	△2,400,000	
前期繰越収支差額	41,180,508	36,241,507	4,939,001	前年度繰越金
B 収入合計	75,700,508	73,161,507	2,539,001	

[支出の部]

(単位:円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	増 減 額	備 考
I 会 議 諸 費	5,700,000	5,700,000	0	
総 会 費	2,200,000	2,200,000	0	会場費、総会資料代等
役 員 会 費	3,500,000	3,500,000	0	県役員会議、県役員・支部長会議 県役員・支部役員合同会議等
II 事 業 費	13,980,000	14,280,000	△300,000	
活 動 費	10,280,000	10,280,000	0	役員活動費、機関誌発行費、都道府県別会 議、会員交流会費等
職 域 活 動 費	2,000,000	2,000,000	0	職域活動交付金
災 害 対 策 費	200,000	200,000	0	被災地見舞金等
研 修 費	1,500,000	1,800,000	△300,000	研修費、リーダーセミナー、国会見学等
III 運 営 費	15,800,000	15,800,000	0	
人 件 費	9,000,000	9,000,000	0	会長、事務局職員給与等
需 給 費	6,800,000	6,800,000	0	事務室賃借料、物品リース料、消耗品費等
IV 支 部 交 付 金	3,500,000	3,000,000	500,000	11支部への交付金
V 予 備 費	500,000	500,000	0	
C 当期支出合計	39,480,000	39,280,000	200,000	
A-C 当期収支差額	△4,960,000	△2,360,000	△2,600,000	
B-C 次期繰越収支差額	36,220,508	33,881,507	2,339,001	次期繰越金

重点方針

1 力強い組織の創成 2 成熟・自律した活動

目的	目 標	方 針	活 動
組 織 力 の 強 化 ・ 拡 大	1 日本看護連盟、 神奈川県看護 協会等との連 携強化	1) 日本看護連盟との情報の共有化 2) 他都道府県看護連盟との連携強化 3) 県看護協会、川崎市看護協会との連携	<ul style="list-style-type: none"> 中央役員会及び各種委員会の審議事項を共有する。 他都道府県看護連盟との連携を強化する。 県看護協会会長及び川崎市看護協会会長と、定期的に看護政策等についての話し合いの機会を設ける。
	2 会員数の増加	1) 平成29年度の会員目標数の設定 2) 看護連盟入会の促進 3) 退会者の防止 4) 学生会員の確保	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度の会員目標数を平成28年度会員数と同数とし（5,400人）、減少を食い止める。 施設訪問を行い、連盟加入を働きかける。 潜在看護師に連盟加入を働きかける。 産休・育休者に連盟会員の継続を働きかける。 県看護協会会員や県看護協会役員に連盟加入を働きかける。 看護大学・看護専門学校教員に入会を働きかける。 学生会員を確保する。
	3 連盟活動の周 知徹底	1) 連盟活動の PR 2) 活発な情報交換 3) 自立した会員の育成	<ul style="list-style-type: none"> 連盟通信をより充実させ、年2回発行する。 各種グッズを活用する。 効果的・効率的で親しみやすい研修を企画し実施する（年5回程度）。 連盟研修4回、国会見学1回 国政における看護職議員の活動内容を報告する。 看護職国会議員のビデオメッセージを活用する。 ホームページを更に充実していく。
	4 神奈川県看護 連盟の効率的 運営	1) 県役員会の開催 2) 財政の健全化と適正化	<ul style="list-style-type: none"> 県役員会（年6回程度）において様々な事案を審議し方向付け、総会に次ぐ決議機関として看護連盟の効率的運営に努める。 財政の健全化と適正管理を行う。
	5 支部組織の活 動の促進強化	1) 県役員・支部長会議、県役員・支部役員合同会議の開催 2) 支部役員・リーダーの意識強化 3) 支部会員のモチベーションの強化 4) 青年部の設置	<ul style="list-style-type: none"> 県役員・支部長会議（年2回程度）において、本部情報の提供と支部にかかる重要案件を検討する。 県役員・支部役員合同会議（年4回程度）において、現場の声を聴き意見交換の場とする。 役割を発揮できるリーダーを育成する。 支部会員のモチベーションの強化に努める（議員訪問、議員とのつながり）。 青年部に関心のある会員を募り青年部を再結成する（議員訪問、ポリナビ参加）。
	6 ブロック協議 会での活動	1) ブロック協議会内での連携・強化	<ul style="list-style-type: none"> ブロック協議会内の他県連盟会長等との情報交換を積極的に行う。 ブロック看護管理者セミナーに参加し連盟活動の意義を知る（茨城）。 ブロックポリナビへの参加を勧める（東京）。
	7 その他の組織 との連携・協働	1) 日本精神科看護協会 2) 助産師会 3) 看護系教育機関との交流促進 4) 自民党県連との連携 5) 支援団体との交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> 看護連盟未加入者の多い施設の看護部長との交流の機会を作る。 看護教育機関への訪問の機会を作り、看護連盟活動について広報活動を積極的に行う。 支援団体、支援企業との交流の機会を作る。
	8 現場の課題へ の対応	1) 現場の声活用促進委員会設置	<ul style="list-style-type: none"> 現場の声活用促進委員会を設置する。 現場の声を集約し、問題解決に向けてどのように対応するかを検討する。

活 動 計 画

目的	目 標	方 針	活 動
政治力の強化	1 看護政策の実現	1)政治力の強化 2)看護政策立案に向けての看護協会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県選出の国会議員の政策説明会等に参加し連携を密にする。 ・要望書の作成は、県看護協会と綿密な協議を行い、共同して行政・議員等へ提出する。
	2 看護職国会議員の擁立支援	1)第25回参議院選挙に向けた体制の整備 2)第25回参議院選挙候補予定者の名前の周知 3)4人の国会議員の各自の活動状況及び知名度の周知	<ul style="list-style-type: none"> ・候補予定者への支援（各支部・施設での講演会、懇談会を企画） ・ホームページ等を活用して各議員の活動を周知する。
	3 看護を理解する国会議員の確保と支援	1)神奈川県選出の国会議員との連携強化 2)神奈川県看護連盟の政治力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・看護政策に理解を示す国会議員を支援する体制を強化する。 ・県内選出国会議員との交流の場を持つ。
	4 地方議員の擁立と支援	1)地方議員との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・県議、市議等への立候補者への支援を行う。 ・県議、市議の活動に積極的に参加する。
	5 地方行政への影響力の強化	1)県内の国会議員、地方議員への積極的活動支援 2)県への要望書の提出	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事等に積極的に参加し看護連盟をアピールする。 ・地域の議員へ積極的に看護連盟の活動を理解してもらい、行政に働きかけてもらう。 ・県看護協会長と連携して看護政策に対する要望書を行政へ提出する。
会員福祉の充実	1 災害への対応	1)災害発生地への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護連盟を通じ災害発生地への支援を行う。
	2 慶弔への対応	1)日本看護連盟及び県看護連盟規程に基づく対応	<ul style="list-style-type: none"> ・災害見舞、物故者への弔慰
	3 会員の福利厚生	1)会員交流会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・会員交流会を実施し、会員間相互の交流を図る。
	4 諸問題への対応	1)会員の安全の保証	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙違反等防止のための教育と指導を徹底する。



石田議員と小泉議員 大いに語る

石田まさひろ議員、小泉進次郎議員
と参加者との対談を行いました！

年度末の最終日(平成29年3月31日)の雨が降る夕方、横須賀にある「ヴェルクよこすか」において、約140人の参加のもと横須賀支部の研修会を行いました。

小泉議員 「赤ちゃんは泣いても良い、子供は走り回っても良い、政治をもっと身近にしていきたいから講演会に来てください、投票は18歳から、講演会は0歳から」これが活動報告会のポスターです。

投票できるのは18歳かもしれないが、政治が世の中のすべてなんです。だから子供の時から何か当たり前に政治に触れる場を作りたいとの思いで、赤ちゃんでも当たり前ですよ、普通ですよと訴え続けてきて、3月25日にやってみて大成功。800人中約80人が子供。ベビーカーや塗り絵コーナーを用意。最初から最後まで塗り絵に没頭していた女の子が「あー楽しかった、また来よう」といつてくれた。

おそらく小泉進次郎のことは全く覚えていない、だけど塗り絵が楽しかったあの会議、子どもの頃にお母さんに連れて行かれたということがどこかで覚えている。大人になってそれが政治の接点だと思う、だから大成功だと思った。その理由は女の子が楽しかったと言ってくれた事、今まで来てくれた方々が、良い話だったねとか、今日は良く分かったということはあったが、楽しかったという感想は今までになかった。楽しくなければ長続きはしない。

今日はプレミアムフライデーですよ。世の中早く帰りましょう、という日に集まってくださった方々に、少しでも来てみてよかったですと思ってもらうために、看護のことを分かっている石田先生と分からない私ですが、皆さんのことも聞かせてもらいながら皆さんと一緒に対話をしたいと思います。

石田議員 それでは現場の声を聴いてみましょう。

参加者 訪問看護ステーションに勤めています、看護師が入ってこない。若い人は病院志向ですが、でもこれからは在宅死がめじろ押しになる。それに対する国の政策はどのように進展しているのか。

石田議員 訪問看護師は足りない。昔、最初は大きな病院に勤めなければスキルが身につかないと言われたが、今はそんなことはない。むしろ大きな病院だけ行くと簡単なことばかりで、大きなトータル



のことが見えなくなっていくので、訪問看護から始めた方が良いという考えがちょっとずつ出てきて、広がっていくと思うが、現実的に増えていない。最後は自分の家で亡くなりたいたいという思いがかなえられない。

一つ難しいのはお金の問題、もう一つは大きな病院だといういろいろな科に異動し経験していくが、訪問看護だと30年~40年同じ仕事になる。

教育、研修を受ける機会を増やすことや、給料を上げなければ難しいと思います。

参加者 喫煙や受動喫煙が、循環器や呼吸器の病気を引き起こしていることは充分わかっている。呼吸器不全の状態は看護師にとって本当に大変なケア、患者も苦しんでいる。なぜ禁煙をもっと推進しないのか。

小泉議員 党内では推進派と反対派が対立している。自民党の中には喫煙愛好者の会もある。政治の場に入ってきていない。

農林部会では喫煙、禁煙の話は厚労省の方にいっている。そこでは小さな飲食店の反対がものすごく強く、店がつぶれるという。この国会で法律を出すという合意までいっていない。

どんなテーマでも絶対反対する人の方が強い。それに反対する人は手を挙げる。何かを提案しても、いいじゃないのという人は基本的に黙っている。じゃ今日の問題はここで合意ということで行きたいと思います、という反対、反対と言われて、進める側の立場からすると、誰か1人でも「よし」とか拍手の「パチパチ」の音があると「はいOK」で進める。このような進め方をしないと動かないのが政治のリアルの現場なのです。

石田議員 反対する人はある意味命がけで反対なのですが、賛成する人はそうならいいなという思いなんです。その差はとても大きい。

トータルサポート。

- 寝具設備・病衣レンタル
- オムツ(布・紙)レンタル
- 介護用品のレンタル・販売
- ユニフォームのリース・販売
- クリーニング全般
- 給食業務受託 等

株式会社 柴橋商会

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-11-5 SGビル
Tel.045-312-5700 <http://www.shibahashi.co.jp>



実は一昨日ですが、受動喫煙を防止することを進めなければならぬ議員連盟の会を開き、59人の議員本人が来た。看護連盟がすごく頑張って議員を集めてくれて今国会に出ることが見えてきた。

最近、高齢者、高齢化というが、結構みんな元気です。何か勝手に高齢者と決めつけているのはこちらではないか、高齢化なんて進んでいないと思う、高齢社会は明るい知恵がたくさんある社会だし、元気な社会だと思う。

石田議員 尊厳死をどう考えるのかの問題、あくまで本人の意思に基づいてやる話ですが、議論は深まっている。我々は尊厳死は取ってしななければいけないと思っていて、各空気を読むとイエスという感じはするが、絶対反対という人がやっぱり必ずいる。もし呼吸器を外すのが当たり前という空気になったら、自分がつけていることが後ろめたいと思うようになる。それはやはり辛い、その思いはわかる。そのような声があって多分、多数決になる。絶対反対の声が圧倒的に強くなっている。

呼吸器をつけ、ずっと何年も暮らし続けることの意味、意義とか家族とかを考えるとそっことも大変な思いをしている。どちらが大きいかわからない。そのような苦しみの中で、やはり声が大きい人達が世の中を作っていくと実感している。我々みたいな考えを持っている人が、絶対これではなくてはいけないのではなく、こうなったらいいなどの思いの集団が我々多いので、何か意見が通ったのが現実かと思っている。

小泉議員 人生100年時代の社会保障を若手議員で議論していて、年金、医療、介護と雇用保険の4つに加え子ども保険というのがあって、子ども保険を使って幼児教育と保育を紹介しよう和我々が提案して、これがどうやって実現できるか考えている。

2007年のデータで子供達の50%が107歳まで生きるという。

働く人が不利にならない年金とか、医療費の削減とかをやり、小さなリスクに関しては自分で見てもらい、大きなリスクは公的に見て資源を集中的に統括すべきと思う。

今の日本の医療制度や誰でも年金がもらえる等基本的な制度を、次の世代にも質を低下せずに渡すには一体どんなことを僕らの世代でやっておかなければいけないのか問われているのが人生100年時代の社会保障です。

石田議員 0歳からはすごい発想で、やはりそういった意見を聞きながら勿論、今それぞれ言っている年齢は大事、社会だから少しずつ我慢をする。どう我慢をするかの議論が今の議論だと思う。

ベテランは声が大きく若い人の声は民主主義の下では現実的には反映しにくい、という現実がある。それにも負けずに議論をしっかりとすることはとても大事である。

参加者 いらない薬までたくさんもらっているから、少し薬代をどうにかした方がよいのでは。

小泉議員 過剰診療、薬の処方、これはデータが入ってくると結構変わるんですよ、どういう事かというとデータ管理をして、貴方は今までこの病院で診療してどういうふうに通院を受けて、どういう薬を投与されて、というのが全部データ管理され共有化される。相

当無駄な部分が省けるが、障害はそこに反対する業界があるので、そういうものと僕は闘っていかなければいけない。

国民全体で考えた時に、データが入った方が将来の子供達にも良いし、無駄な事がないから良いし全体の良さは分かっているが、各論でとてつもない反対をする。その時には賛成してくれてバックアップし、やれーというのが圧倒的に少ない。

参加者 今はいかに点数を取るかに親子が気をとられているが、人をやっつけるのじゃなくて、やはり自分が人様に優しい心になれるような教育を、教えなくてもそういう感情が出来るようにして貰える政治が良いなあと思う。

小泉議員 本当にその通りで、社会が支え合い助け合い、困った時のお互い様、これをどうやってもう一度しっかりと根付かしていくことがすごく大事だと思います。町内会の民生委員さんとかが困った時のお互い様の精神がなかったら民生委員は絶対できないと思う。もう一度しっかりと考えて、僕らはそれが支え合いが自然と伸びるような仕組みづくりをやっていかなければいけないと思う。

石田議員 政治についても看護についてもそうですが、やはり大成する人がどんどん先に語って行って仲間を作っていくことがとても大事で、堂々とできるような社会にしっかりとやっていかないといけない。それには皆で良いことだよと堂々と言えるような社会を作っていく事が僕らの仕事と思う。

小泉議員 今日の会合すごく良かったと思う。看護連盟の皆さんにお願いしたいのは、政治家で0歳からの活動の問題を当たり前にしていきますので、看護連盟の皆さんが集まる時、自分のお子さんとかお孫さんとか子供や赤ちゃんが泣いているのを、当り前の場として欲しい。

最後に、去年伯母をなくした。前から家はシングルファザーの家で、母親代わりに育ててくれた。その闘病している時に今でも自分は忘れられないのは、その伯母さんが喜んだのは、病院のお世話になった看護師さん達から「誕生日おめでとう、お元気ですか」と手紙をもらったことが大変嬉しかったと、今でも自分は覚えています。

石田議員 本当に最後に素敵な言葉を頂きありがとうございました。



東洋羽毛「睡眠セミナー」無料サービスのご案内

Sleeping seminar

◆こんなお悩みはありませんか？

- 夜勤明け、体は疲労しているのになかなか眠れない。
- 寝起きが苦手で起床時間ギリギリまで起きられない。
- 睡眠時間は長いのに、眠りの質に満足できない。



◆睡眠セミナーを無料で開催しています

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーをご用意しています。研修会や勉強会、学会でのコーヒースerviceもご提供しています。



～お気軽にお問合せください～

東洋羽毛首都圏販売株式会社横浜営業所
フリーコール 0120-00-7663



TUK 東洋羽毛工業株式会社

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺2-26-5

日本看護連盟名誉会員に本県看護連盟の 神部周子顧問が決定しました。



かんべちかこ
神部周子

神部周子さんからのお礼の言葉

看護の道を目指し歩きだして60年が過ぎました。
日本看護連盟名誉会員という大変うれしい賞を頂き、本当に
名誉なことだと感謝しております。
神奈川県看護連盟会長様や長年お付き合いをさせて頂きま
した連盟役員のみなさまのおかげと思っております。
看護連盟の組織の成長はなかなか思う様には進みませんが、
連盟活動も看護と同じで、粘り強く、諦めず、コツコツと歩んで
きたように思います。
そんな看護の道及び看護連盟の活動を誇りに思います。
これからもコツコツと行きたいです。

議員訪問しました!!

日時 平成29年3月9日(木) 11:00~14:00

県看護連盟の初めての試みで、若い会員を対象に、国会について勉強する機会を設けました。今回は、東海大学医学部附属病院と横浜総合病院の5名の方が参加しました。

高階議員が出席する厚生労働委員会と石田議員が出席する財政金融委員会の傍聴では、厳しいセキュリティー検査や、テレビでしかお目にかかれない有名大臣など驚きの連続でした。

石田議員との昼食では、給与体系についてや看護必要度についてなどの意見交換を行い、医療が進歩していく中で自分達が出来ることは何なのか考えて行動に移すことが重要であるということを学ばせて頂きました。

今回の研修に参加して、現場の職場環境や給与体系などの看護政策を実現させるためには、日本看護連盟が掲げている『ベッドサイドから政治を変える』というスローガンのように、このような議員との意見交換の場や要望の機会が重要なだと改めて感じました。現場で抱えている悩みや意見などを気軽に言い合える場がもっとあればいいと思いました。

今回は男性看護師5名での参加でしたが、このような研修に多くの看護師が参加できるような企画をお願いしたいと思います。

出席した東海大学医学部附属病院の新村 修さんからの感想文



平成29年度神奈川県看護連盟役員名簿

[役員]

役職名	氏名
会長	奥本 信子
副会長	野地 金子
副会長	桃田 寿津代
副会長	光谷 和子
幹事長	小柳 正子
幹事	藤原 紀美子
幹事	目久田 千恵子
幹事	立崎 洋子
幹事	山内 精子
幹事	尾花 由美子
幹事	近藤 美知子
幹事	砂田 好至子
幹事	田中 龍子
幹事	林 リツ子
幹事	山本 良子
監事	由川 文子
監事	山本 道子

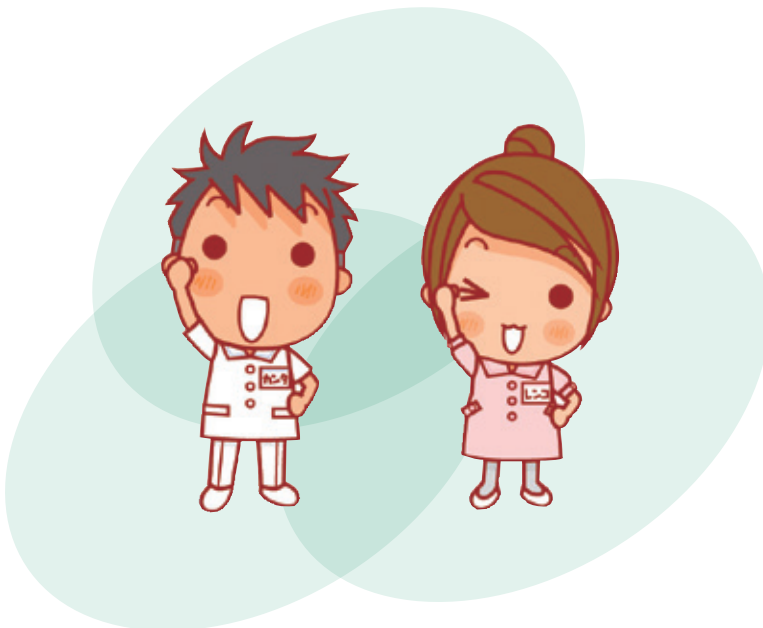
[支部長・幹事長 (参考)]

平成29年7月1日から

支部名	支部長	幹事長
川崎支部	二見 和子	千葉 芳子
横浜第1支部	光谷 和子	山内 美智子
横浜第2支部	畠山 友子	三好 礼子
横須賀支部	藤原 由美	中村 晃子
相模原支部	迫川 ちよの	古川 喜美
県西支部	與那原 明子	西藤 弘子
湘南支部	松本 敦子	北村 香津美
県央支部	原田 貞代	押切 節子
富士見町支部	本橋 みどり	草場 美千子
川崎助産師会支部	勝俣 喜代子	小峯 千恵美
横浜市西部支部	片桐 恵美子	村岡 敬子

[相談役及び顧問]

役職名	氏名
相談役	花井 恵子
相談役	広瀬 壽美子
顧問	神部 周子
顧問	小池 トモエ
顧問	三澤 きみ子
顧問	永澤 直美



全国10,000床以上の医療機関・介護施設で採用

ぴったりシーツ

特許取得済

リネリース対応



- ◆ 1人でセット出来、縦横に伸びるのでエアーマットにも使えます
- ◆ ゴムを使用していない、耐久性の高い、肌触りの良いニット素材のボックスシーツです

医療機関、介護施設、訪問看護・介護の事業所に向けて、サンプルをご用意しております。

お問い合わせ・サンプルのお申込みは TEL 048-953-3100 info@t-shinkou.co.jp

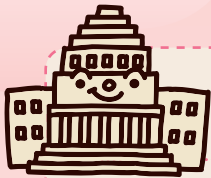
日本訪問看護財団 法人会員



株式会社 信公

埼玉県三郷市泉3-3-17

http://www.t-shinkou.co.jp/



国会見学参加者募集

日時 平成29年10月20日(金)

集合時間 午前8時15分

集合場所 横浜天理ビル前

募集人員 80名

申込締切 平成29年9月20日(水)

詳しくは当看護連盟にお問合せ下さい。



入会案内

一人でも多くの方の入会により、現場の声を国政に反映させましょう



平成29年度 看護連盟会員募集

正会員

年会費 **9,000円**
(7,000円)

看護協会会員である人
日本看護連盟 / 5,000円
神奈川県看護連盟 / 4,000円 (70歳以上の人は2,000円)

特別会員

年会費 **9,000円**
(7,000円)

正会員の経歴を有し、未就業で現在看護協会会員でない人
日本看護連盟 / 5,000円
神奈川県看護連盟 / 4,000円 (70歳以上の人は2,000円)

賛助会員

1 □ **1,000円**
※何口でも可

看護連盟の主旨に賛同する人 (看護職でなくても入会可)

学生会員

年会費 **無 料**

看護学生で看護連盟の主旨に賛同する人

お問い合わせ

事務局

TEL(045)263-2801 FAX(045)263-2802
e-mail:jimukyoku0@kanagawakangorenmei.jp



会員の皆様にお知らせしたい内容が沢山ありました。
今回ページ数を4枚増やしました。
是非読んで頂きたいと思います。



広報委員

小柳 正子 山内美智子
畠山 友子 中村 茂雄

